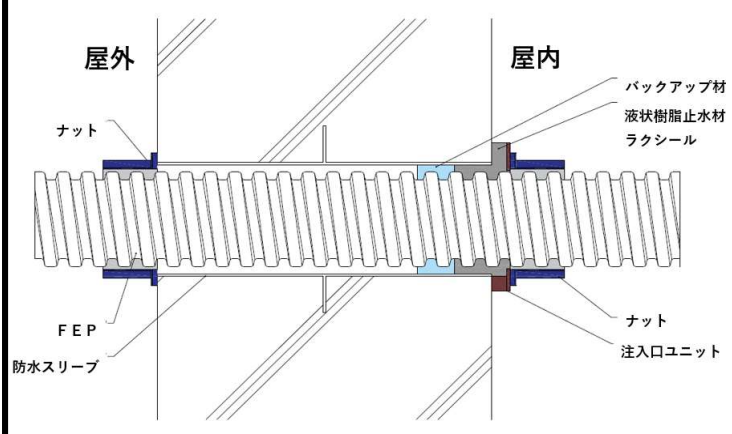


FEP貫通部止水キットの施工手順書

【施工断面図】外壁貫通部FEP止水工法



施工動画はこちらから



施工完了イメージ



【キット構成品】

- ・注入口ユニット×1個
- ・ナット×2個
- ・カップ×1個（小分け攪拌用）
- ・竹へら×1本
（バックアップ材挿入、攪拌用）
- ・不乾性パテ×1袋
- ・バックアップ材×1本
- ・メリヤスウエス×1枚

【キット品以外に準備して頂く物】

- ・バックアップ材を切断するハサミ
- ・コンベックス（充填厚計測用）
- ・計量用スケール
- ・養生シート
- ・養生テープ
- ・予備ウエス
- ・電動ドライバー（スクリュー攪拌棒用）
- ・スクリュー攪拌棒

サイズ	適用削孔径
80φ用	～125φ
100φ用	～150φ

1. 注入口ユニットの取り付け方法

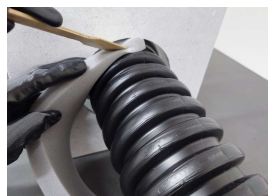
- ① まずは【屋外作業】です。
貫通孔内を清掃します。
FEPの先端からナットを回しながらはめた後、FEPをスリーブ内に挿入します。



- ② ここから【屋内作業】です。
FEP表面を清掃します。
バックアップ材をFEPの外周に合わせて切断します。**バックアップ材の合わせ目は重ねてください。**



- ③ FEPを**手前に引っ張りながら**バックアップ材を付属のへらを使いスリーブ口から50mmの位置まで押し込みます。充填厚はコンベックス等で正確に計測してください。



- ④ コンクリート表面を清掃します。
注入口ユニット裏面の防水テープの剥離紙を剥がし壁面へ貼り付けて仮固定します。



- ⑤ ナットを注入口ユニットに接し回らなくなるまで手で締め込みます。
***ナットの締め込みに工具は使用しないでください。(注入口が反り漏れの原因となります)**



- ⑥ **【重要】止水剤の漏れ防止**
注入口ユニットと壁の接着面は**Uの字に付属のパテで必ず塞いでください。**
（パテは止水剤硬化後に取り除くことができます）



2. 止水剤の充填方法

- ⑦ 止水剤の液ハネ汚れを軽減するため止水剤はカップを**壁面と平行の向きで注入口の端から少しづつ充填します。**
*注入口の上面に養生テープを貼ると液ハネ汚れを防止できます。
*万一漏れが発生した場合は充填作業を中断し、付属のパテで漏れ箇所を押さえて漏れを止めてください。



- ⑧ 注入口からスリーブの管頂が見えなくなるまで止水剤を注ぎ込み、液面が低下しなければ充填完了です。
*液ハネ汚れはウエス等で拭き取ってください。
*止水剤が硬化するまではFEP及び注入口は動かさないでください。
（硬化時間：約24時間）



別売品

ラクシール-WG（2液混合タイプ液状樹脂止水材料）

混合比（質量比g）は5（A液）：1（B液）です。

攪拌不足の場合、硬化不良になる恐れがありますのでご注意ください。

* 缶の側面のラベルに記載している使用方法をよくお読みの上、施工してください。

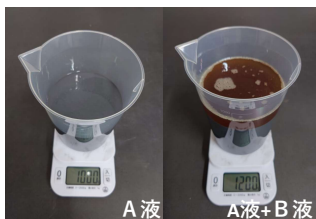
【止水剤の混合手順】

1. 5kgセット缶を小分けして使用する場合

- ① A液を予め電動攪拌機等で3分程度攪拌してください。



- ② 混合比（質量比g）が5（A液）：1（B液）になるように別の容器に計り取ってから使用してください。



- ③ B液投入後は速やかに容器の底まで届く攪拌棒を用いて、全体を5分程度攪拌してください。
* 小分けで使用する場合は手混ぜでも攪拌できます。
* 全体が均一な色になるよう、充分に混合してください。



2. 5kgセット缶で使用される場合

- ① A液を予めムラのないよう電動攪拌機を用いて、3分程度攪拌してください。
② B液投入後は速やかに缶底まで届く電動攪拌機を用いて、全体を5分間程度攪拌してください。
③ 全体が均一な色になるよう、充分に混合してください。



ラクシール-WGの必要質量 （ロス込み目安量）

FEP	スリーブ	充填厚	A液 g	B液 g	合計 g
80φ	125φ	50mm	950	190	1,140
100φ	150φ	50mm	1,000	200	1,200

* 充填厚の差異や漏れ等が生じた場合は不足する場合があります。

3. 攪拌後は速やかに注入口から充填してください。

■ ■ ラクシール-WG 製品ラインナップ ■ ■

半硬化時間 (固まって流れなくなる時間)	実用硬化時間	硬化時間 (十分に硬化する時間)
2時間	24時間	48時間

* 温度が高くなると硬化が早くなり、低くなると硬化が遅くなります。

名称	販売単位	品番	A液	B液
5kgセット	1セット	RSEWG5	ペール缶	角缶
20kgセット	1セット	RSEWG20	丸缶	角缶

* 必要量に応じて別途お求めください。

⚠ 注意

- 取り扱い時は必ず手袋を着用してください。
- 止水剤が眼に入る等した場合は、速やかに下記の応急処置を行い医師の手当を受けてください。
 - ・ 眼に入った場合は、こすらず速やかに眼のすみずみまで真水で洗浄し眼科医の手当を受けてください。
 - ・ 飲み込んだ場合は、直ちに水で口の中をすすぎ、速やかに医師の手当を受けてください。
 - ・ 手、肌等に付いた場合は、水、石鹸で洗い落としてください。
- 余った残材料は各自治体の規則に従って適切に廃棄してください。

〒101-0047
東京都千代田区内神田2丁目16号8番
電話：03-5297-8711

販売元： **古河エレクトロム**